

平成30年度 運輸安全マネジメント 重点施策実施結果

安全重点施策	平成30年度実施結果		
(1)輸送の安全確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規定に定められた事項を遵守します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営トップは年1回、ベストドライバーの表彰の機会を設けて表彰し、乗務員・職員等に対して安全が最も重要である意識の徹底を図りました。 ・ 安全統括責任者、統括運行管理者、運行管理者は日々、職員会議や研修会（年10回開催）点呼業務などを通じ安全運転が最も重要であるという意識付けを行いました。 ・ 毎月、乗務員親睦会の代表者（複数名）と安全衛生会議を開催し事故撲滅に向けた会議を行いました。 		
(2)輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行います。	安全・環境に関する投資	実施内容	金額（万円）
	アイドリングストップ車の導入	代替車両に順次導入	5,250
	スタッドレスタイヤの装着	保有全車両に冬季装着	675
	ドライブレコーダーの装着	全車両へ装着済み	1,558
	アルコールチェッカーの活用	新型機器を導入	75
	乗務員運転経歴書の取得	累積点数を確認し、事故・違反の防止に努める	31
	免許証確認装置の運用	新型機器を導入	75
	業務システムの活用	基幹システム整備による情報共有化	60
	薬物検査の実施	違法薬物検査（定期健診時実施）	200
	NASVAネットの活用	インターネット活用の適性診断受診	100
	クールビズの実施	環境負荷の軽減・ワイシャツの支給	50
	ストレスチェックの実施	従業員の心身健康の維持増進活動	10
	ドライブレコーダーの映像活用	K Y Tによる事故撲滅活動の実施	10
	事故防止小集団活動の実施	乗務員の自主的事故防止活動を支援	10

安全重点施策	平成30年度実施結果
(3)輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置または予防措置を行う。	平成30年度においては、計2回の内部監査を実施し、安全管理体制の浸透を図りました。
(4)情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会、安全衛生管理会議、職員会議等を計画的に開催し安全に関する情報の伝達や共有を行いました。 ・乗務員研修会、班会議を計画的に開催し乗務員に対し、安全に関する情報の伝達や共有を行いました。 ・安全統括管理者や運行管理者が主体となり事故担当者会議・事故惹起者講習などを定期的に行い、事故事例の伝達・共有することで事故撲滅に向けた乗務員教育に活用しました。
(5)教育、研修の具体的な計画を策定し、的確に実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導要領の年間教育計画に基づき、乗務員に対して安全輸送に関する教育を行いました。 ・安全統括管理者は、毎月の職員会議で運行管理者に対して輸送の安全に関する教育研修を行いました。 ・経営トップは本社管理部門職員に対し、輸送の安全に関する教育を行いました。